

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)**End of Result Set**☐ [Generate Collection](#) [Print](#)

L4: Entry 53 of 53

File: JPAB

Mar 17, 1981

PUB-NO: JP356027474A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 56027474 A

TITLE: INFORMATION GUIDANCE SCREEN REGISTRATION SYSTEM

PUBN-DATE: March 17, 1981

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HAGIWARA, TSUNEO

SUZUKI, SHIGEHICO

ITO, HIROSHI

HOSOE, TAKUJI

US-CL-CURRENT: 501/97.1; 708/551

INT-CL (IPC): G06F 15/40; H04N 7/00

ABSTRACT:

PURPOSE: To prevent services from being interrupted even when requests for the registration and transmission of an information guidance screen are made at the same time, by making it possible to offer services of the updated information guidance screen at allotted time even if registration operation is performed at random time.

CONSTITUTION: Information guidance service system SVC is provided which registers information on an information guidance screen from information supply terminal A and sends the information guidance screen information registered in information request terminals B~Bn. This system SVC is provided with the 1st and 2nd memories MX and MY in which the guidance screen information is registered. Then when terminal A registers the guidance screen information by allotting desired time, input information switching unit IS discriminates input information to send information on registration and time to gate circuit G1 and switching time assignment unit XYZ, thereby writing the guidance screen information in either of memories MX and MY in a stand-by state by way of damping unit XC or YC. When the transmission of the guidance screen information to terminals B~Bn through gate circuit G2 ends by the in-use memory, the in-use and stand-by memories are changed over, so that the interruption of services will be prevented.

COPYRIGHT: (C)1981, JPO&Japio

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56—27474

⑪ Int. Cl.³
G 06 F 15/40
H 04 N 7/00

識別記号

庁内整理番号
6913—5B
6427—5C

⑬ 公開 昭和56年(1981)3月17日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ 情報案内画面登録方式

①特 願 昭54—102612
②出 願 昭54(1979)8月11日
⑦発 明 者 萩原恒男
武蔵野市緑町3丁目9番11号日
本電信電話公社武蔵野電気通信
研究所内
⑧発 明 者 鈴木滋彦
武蔵野市緑町3丁目9番11号日
本電信電話公社武蔵野電気通信

研究所内

⑦発 明 者 伊藤弘
武蔵野市緑町3丁目9番11号日
本電信電話公社武蔵野電気通信
研究所内
⑧発 明 者 細江拓治
横須賀市武1丁目2356番地日本
電信電話公社横須賀電気通信研
究所内
⑨出 願 人 日本電信電話公社
⑩代 理 人 弁理士 玉蟲久五郎 外3名

明 細 書

1 発明の名称 情報案内画面登録方式

2. 特許請求の範囲

情報提供端末からの情報案内画面を登録し、情報要求端末に登録された情報案内画面を送出する情報案内サービスシステムに於いて、情報案内画面登録用の第1及び第2のメモリと、指定時刻で登録情報案内画面の切換えを行なう切換手段とを設け、前記情報提供端末からの情報案内画面は、前記第1及び第2のメモリの何れか一方の予備状態のメモリに入力して書込み、前記情報提供端末から指定した時刻に於いて、前記切換手段により前記予備状態のメモリを現用状態又は前記予備状態のメモリの内容を現用状態のメモリに転送してサービス情報案内画面の切換えを行なうことを特徴とする情報案内画面登録方式。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、情報案内サービスを提供するシステムに於ける情報案内画面登録方式に関するもので

ある。

情報提供端末からの情報を蓄積し、情報要求端末に情報を送出する情報案内サービスが提案されている。例えば第1図に示すように、情報提供端末4から情報案内画面を登録する為の特殊番号をダイヤルすると、情報案内サービスシステム1の処理部2は、情報提供端末4が予め契約して確保してあるメモリ3の領域を指定して、情報提供端末4からの情報案内画面を登録させる。情報要求端末5が特殊番号をダイヤルして情報案内画面を要求すると、処理部2はその要求に応じた情報案内画面を検索してメモリ3から情報案内画面を情報要求端末5に送出する。

しかし、情報案内画面を希望の時刻に変更する必要がある場合は、その希望時刻に於いて情報提供端末4から登録の為の入力操作を行なわなければならないものであり、又登録処理と、情報案内画面の送出処理とを同時にできないので、情報案内サービスを一時中断しなければならない場合が生じる欠点があつた。

(1)

(2)

本発明は、前述の如き欠点を改善したもので、任意の時刻に登録操作を行なつても、指定時刻で更新した情報案内画面のサービスを可能とし、且つ情報案内画面の登録と送出との要求が同時であつてもサービスの中断がないようにすることを目的とするものである。以下実施例について詳細に説明する。

第2図は本発明の実施例のブロック線図であり、 $A, B_1 \sim B_n$ は端末、 SVC は情報案内サービスシステム、 IS は入力用情報切換装置、 OS は出力用情報切換装置、 MX, MY は情報案内画面登録用の第1及び第2のメモリ、 G_1, G_2 はゲート回路、 XC, YC はメモリの制御装置、 XYC は切換時刻指定装置、 TMR はタイマであつて、端末 A から情報案内画面を登録し、端末 $B_1 \sim B_n$ が情報案内画面のサービスを受ける場合についてのものである。なおダイヤル情報の受信識別や情報案内画面の検索等の手段は図示を省略してあるが、フアクシミリ蓄積交換方式及びメモリの検索手段等の構成を適用することができる。

(3)

なる。

ax, bx (又は ay, by) が "1", "0" のとき、サービス可能の現用状態を示し、ゲート制御信号 x_2 (又は y_2) は "1" となる。

ax, bx (又は ay, by) が "1", "1" のとき、サービス中であることを示し、ゲート制御信号 x_2 (又は y_2) は "1" である。

又ゲート回路 G_1, G_2 はゲート制御信号 x_1, x_2 が "1" であればメモリ MX 、ゲート制御信号 y_1, y_2 が "1" であればメモリ MY 側に切換接続を行なうもので、前述の如く、 $ax, bx = "0", "0"$ で $x_1 = "1", x_2 = "0"$ であれば、メモリの入力側のゲート回路 G_1 は第1のメモリ MX に、又出力側のゲート回路 G_2 は第2のメモリ MY にそれぞれ切換接続され、登録要求があつたときは、情報案内画面は予備状態の第1のメモリ MX に書込まれることになる。

端末 A から任意の時刻に切換時刻を指定して情報案内画面を登録する場合、入力用情報切換装置 IS に於いて入力情報を識別し、サービス種別情

(5)

第1及び第2のメモリ MX, MY はゲート回路 G_1, G_2 によつて切換使用されるものであり、第1及び第2のメモリ MX, MY の状態を示す使用中/非使用中情報 bx, by と、切換指定情報 ic によつてタイマ TMR から出力される切換情報 ax, ay とが制御装置 XC, YC に加えられ、制御装置 XC, YC からゲート回路 G_1, G_2 を制御するゲート制御信号 x_1, x_2, y_1, y_2 が出力される。

使用中/非使用中情報 bx, by が使用中を示すとき "1" とすると、制御回路 XC, YC の入力条件によつてメモリ MX, MY の状態が次のように決定される。

ax, bx (又は ay, by) が "0", "0" のとき、メモリ MX (又は MY) は予備状態で、情報案内画面が入力されたときに登録可能であり、ゲート制御信号 x_1 (又は y_1) は "1"、 x_2 (又は y_2) は "0" となる。

ax, bx (又は ay, by) が "0", "1" のとき、サービスガード中で情報案内画面の更新は禁止される。即ちゲート制御信号 x_1 (又は y_1) は "0" と

(4)

報(登録要求情報等) j_1 はゲート回路 G_1 に、切換時刻情報 ic は切換時刻指定装置 XYC に、又情報案内画面情報 P_i はゲート回路 G_1 を介して第1又は第2の何れかのメモリ MX, MY にそれぞれ加えられる。このとき $ax, ay = "0", "0"$ であれば第1のメモリ MX は予備状態であつて、制御装置 XC はゲート制御信号を $x_1 = "1", x_2 = "0"$ とし、情報案内画面情報 P_i は第1のメモリ MX に加えられて書込まれる。

切換時刻情報 ic は切換時刻指定装置 XYC に格納され、切換指定情報 ic がタイマ TMR に加えられるので、指定時刻になると、タイマ TMR からの切換情報 ax, ay が反転される。それによつて制御装置 XC はゲート制御信号 x_1 を "0", x_2 を "1" とし、第1のメモリ MX を予備状態から現用状態に切換えることになるので、情報案内画面の切換希望時刻前の任意の時刻に登録操作を行なつても、指定時刻に自動的に情報案内画面の切換えを行なうことができる。

端末 $B_1 \sim B_n$ から情報案内画面の要求があれば、

(6)

現用状態のメモリに登録された情報案内画面が読出されて送出される。例えば第1のメモリMXが $ax, bx = "1", "0"$ の現用状態を示すとき、ゲート制御信号 $\alpha 2$ が"1"となるので、第1のメモリMXに登録された情報案内画面が読出されてゲート回路 G_1 を介して出力用情報切換装置OSにその画面情報 P_{01} が加えられ、サービス要求を行なつた端末に送出する。なお出力用情報切換装置OSからサービス種別情報(情報案内要求、情報確認等)J2がゲート回路 G_1 に加えられる。このとき第2のメモリMYは予備状態となるので、情報案内画面の登録要求があればこの第2のメモリMYに入力された情報案内画面を書込むことができる。即ち登録要求とサービス要求とが同時であつてもサービスの中断が必要でないものとなる。

又端末 B_1 が例えば現用状態の第1のメモリMXからゲート回路 G_1 を介して画面情報 P_{01} を受信中に切換指定時刻になつた場合は、そのまま前の画面情報 P_{01} が第1のメモリMXから読出されて送出され、その送出終了後に現用状態から予備状

(7)

前述の実施例は、予備状態にあるメモリに入力された情報案内画面を書込み、指定時刻で現用状態に切換えるものであるが、固定的に一方を現用状態メモリ、他方を予備状態メモリとし、入力された情報案内画面は常に予備状態メモリに書き込み、切換指定時刻に於いて現用状態メモリの内容を予備状態メモリの内容により書換えることもできる。この場合も、現用状態メモリの読出中は指定時刻でも書換えを禁止する制御を行なうことによりサービスの連続性を保証することができる。又現用状態メモリと予備状態メモリとの間に情報転送の経路を設けることは勿論であり、この経路を切換情報で制御すれば良いことになり、具体的構成も容易に実現できるものである。

以上説明したように、本発明は、情報案内画面登録用の2個のメモリMX, MYと、指定時刻で登録情報案内画面の切換えを行なうタイマTMR、ゲート回路 G_1, G_2 等の切換手段とを設けたことにより、任意の時刻に情報提供端末から切換時刻を指定して情報案内画面を登録することができ、又

(9)

態に切換えられる。この場合、 ax, bx は"0", "1"のサービスガード中となり、情報案内画面の登録、更新は禁止される。又前述の端末 B_1 が切換指定時刻の前後に亘つて受信中の場合に、他の端末例えば端末 B_n が切換指定時刻後に情報案内画面の要求を行なうと、第2のメモリMYは、情報 ay, by が"1", "0"のサービス可能な状態を示し、端末 B_n には第2のメモリMYからの画面情報 P_{02} が読出されて、ゲート回路 G_2 、出力用情報切換装置OSを介して送出される。

又情報提供端末としての端末Aに於いて、既に登録した情報案内画面を、切換指定時刻前に確認したい場合が生じることがあるが、その場合は、特殊番号のダイヤルにより予備状態のメモリから画面情報の読出しを可能とすることもできる。即ち制御回路XC, YCに確認要求情報を入力する構成とし、予備状態のメモリの画面情報の送出を可能とする構成とすれば良いことになり、その場合は出力用情報切換装置OSに端末Aが切換接続されることになる。

(8)

現用状態メモリから情報要求端末へ情報案内画面が読出されて送出され、予備状態メモリに情報提供端末から入力された情報案内画面が書込まれるので、サービスの中断を生じることがないものとなる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の情報案内画面登録方式の説明用のブロック線図、第2図は本発明の実施例の要部ブロック線図である。

A, $B_1 \sim B_n$ は端末、SVCは情報案内サービスシステム、ISは入力用情報切換装置、OSは出力用情報切換装置、MX, MYは第1及び第2のメモリ、XC, YCは制御装置、XYCは切換時刻指定装置、TMRはタイマ、 G_1, G_2 はゲート回路である。

特許出願人 日本電信電話公社

代理人 弁理士 玉 森 久 五 郎
(外3名)

(10)

図 1

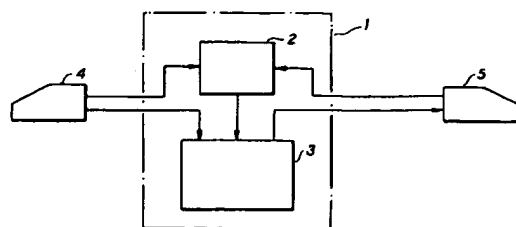


図 2

